は体脂肪測定可）
持ち物 筆記具、エプロン、三角きん（食材費の一部100円を負担）

「かみかわHOT（ほっと）かないセンター」巡回相談

経済的な心配、困りごと、仕事、福祉に関するご相談をお受けします。

相談ご希望の方は、当日相談会場まで直接お越しください。電話の事前受け付けもします（相談中の場合はお待ちいただく場合があります）。

日時 8月23日（火）午後1時半～同4時半
場所 高齢者いきいきセンター ボランティアルーム（東川町社協事務所に併設）
お問い合わせ 「かみかわHOT（ほっと）かないセンター」（北海道社会福祉協議会自立相談支援センターかみかわ）☎48―1234、東川町社会福祉協議会☎82―7505

幼児センターから

申し込み、お問い合わせは地域子育て支援センター☎82―5100

よちよち教室

乳児のお子さんが安心して遊べる場所です。親子で楽しく遊びお友だちをつくりましょう。0歳児対象の親子遊びの教室です。お兄ちゃん、お姉ちゃんも一緒にどうぞ。

日時 7月21日（木）午前10時～正午
場所 子育て支援センタープレールーム
対象 0歳児のお子さんと保護者
定員 15組程度（要予約）
内容 赤ちゃん体操、親子遊び「ベビーマッサージ」も予定
講師 早川舞さん、古山絵里加さん
持ち物 バスタオル1枚、水分補給用のミルクなど

親子遊びの体験教室

日時 8月4日（木）午前10時～11時半
場所 子育て支援センター
定員 15組程度（要予約）
内容 幼児センター2歳児（うさぎ組さん）と交流

子育て講座ミニバレー

子育て中のお母さん、ミニバレーで日ごろのストレスを発散しましょう。

日時 8月5日（金）午前10時～正午
場所 B&G海洋センター
対象 家庭の親子どなたでも
定員 なし（要予約）
内容 ミニバレー
持ち物 上靴（親子）、飲み物、タオル
その他 お母さん同士で託児

◆・◆・◆・◆・◆・◆・◆

陶芸山麓会から寄付

6月25日、陶芸山麓会の引地裕子会長、伊東カツエ副会長の2人が来庁し、「図書購入費に役立てて」と高額寄付をいただきました。

2年前に迎えた活動20周年を機に、活動設備の老朽化に伴う修繕、備品購入用として積み立てた費用を寄付していただきました。

活動拠点の老人保健センターで利用してきた旧窯が老朽化し更新を検討していたところ、町で同センターの内部全面改修を実施したため、修繕、備品費用が不要になり、その額を寄付していただきました。ありがとうございました。

花本建設から寄付

6月9日、花本建設㈱（旭川、花本金行社長）から今年も町に多額の寄付金をいただきました。

花本社長、橋本博昭専務が来庁し、松岡市郎町長に託しました。写真甲子園の映画制作費用と写真の町事業に役立てます。ありがとうございました。

人気作家、太田紫織さんが来町

小説「櫻子さんの足下には死体が埋まっている」（角川文庫刊）シリーズでE★エブリスタ電子書籍大賞ミステリー部門優秀賞（角川書店）を受賞した十勝在住の人気作家、太田紫織さん（38）が6月7日、松岡市郎町長を表敬あいさつに来庁しました。

昨年8月第1巻を出版した「オークブリッジ邸の笑わない貴婦人」（新潮文庫刊）の新刊、第2巻発行あいさつと続編執筆に向けた取材のため来町しました。

同小説に登場するオークブリッジ邸の舞台となったのは東川町。屋敷が建っている設定の岐登牛地区クラフト街道沿いやぶどう畑、町内2軒のカフェなどを回って次回作のイメージを膨らませたよう。

小学6年生2種混合予防接種

保健福祉課

2種混合（ジフテリア、破傷風）予防接種です。乳幼児期に3種混合予防接種で得た免疫の低下を防ぎ免疫を高めるものです。

日　時	場　所	検診機関	内　容
25日(月)、26日(火)、28日(木)、29日(金)	町立診療所	13:00～16:30	3種混合予防接種を第1期初回（3回）、1期追加接種（1回）の合計4回のうち、3回以上接種済みの児童

「今まではお屋敷の中の物語でしたが、第3巻はお屋敷のあるまちについて書こうかな」などと構想を膨らませていました。

公共交通ネットワークを話し合い

5月31日、町は役場で公共交通のあり方を検討する第16回東川町地域公共交通活性化協議会を開き、公共交通ネットワークの本年度運行計画などを次のように決定しました。

町内のスクールバスは「東忠別線」「北忠別線」「東雲・上岐登牛線」3路線のうち2路線は町直営、北忠別線は旭川電気軌道に委託運行しています。

旭川電気軌道のバス路線のいで湯号「旭川駅―旭岳温泉」は、本年度も「東神楽―旭川空港―道の駅・道草館」経由で運行し、10月から1往復増して1日4往復体制と便数強化します。

旭川電気軌道バスの利用利便性を高めるため、9月から道草館にIC自動販売機を新設。定期券の期間更新がスムーズにできるようになります。

バスロケーションシステムの導入に伴って、パソコン、スマートフォン、道草館に設置のテレビ画面で運行中の路線バス状況がリアルタイムで確認できることを報告しました（昨年11月から実施）。

高齢者福祉ハイヤー、バス料金の助成制度は、本年度から1万5千円分の助成額をバスとハイヤーの併用で利用できるようになりました（1人分最大5千円分をバス利用に振り替え可）。

初開催、インターナショナルフェス

6月11日、町教育委員会が主催して農村環境改善センターで第1回インターナショナルフェスティバル（世界まつり）を開きました。

8カ国のCIR（国際交流員）、ALT（外国語指導助手）、SEA（スポーツ国際交流員）が子どもたちの遊びと文化を紹介しました。

町内の小学生ならだれでも入場OK。北米・カナダはネイティブ・アメリカン（インディアン）の踊りとアイスホッケーゲーム、

日本赤十字社東川町分区収支決算

日本赤十字社東川町分区はこのほど、日本赤十字社東川町分区の27年度収支決算をまとめました。

<収入の部>

科　目	予算額(円)	決算額(円)	比較増減(円)	備　考
繰越金	122,282	122,282	0	前年度繰り越し
配分金	180,000	178,200	△ 1,800	赤十字奉仕団運営助成金 20,000円 分区交付金 158,200円
社費	1,000,000	903,600	△ 96,400	
雑入	718	29	△ 689	預金利息 29円
合計	1,303,000	1,204,111	△ 98,889	

（△はマイナス）

<支出の部>

科　目	予算額(円)	決算額(円)	比較増減(円)	備　考
事業費	1,100,000	1,003,600	△ 96,400	社費 903,600円 赤十字奉仕団助成金 100,000円
旅費	58,000	9,940	△ 48,060	上川地区委員会研修会等
事務費	49,000	46,186	△ 2,814	振り込み手数料等
災害援助	40,000	0	△ 40,000	
予備費	56,000	0	△ 56,000	
合計	1,303,000	1,059,726	△ 243,274	

（△はマイナス）

（収　入）		（支　出）		（繰越金）
1,204,111 円	－	1,059,726 円	＝	144,385 円

日本赤十字社は、血液事業の推進、災害時の医療救護、災援物資や義援金支援などの事業を通して世界の平和と福祉に役立つことを願っています。その活動を支えているのは、皆さまの善意による社資（社員）と寄付金、そして労力の提供を伴う多くの奉仕者の活動です。赤十字活動はあなたの善意が支えです。

日赤赤十字社東川町分区 分区長
東川町長 **松　岡　市　郎**